

		⑧ 聞いた数を答えよう	
		聞いた内容を少しの間記憶しておくカ	
		全体への支援	より個別的な支援(教材の工夫など)
1	目標・ねらい 学習の評価	1) ・活動内容を具体的に示す ・児童生徒を主語にして「～する」「～できる」という表現にする ・一つの目標には二つ以上の内容を入れない 2) ・板書や紙に書くなどして、児童生徒が見て分かるように提示する 3) ・まとめの時間に授業の振り返りを必ず行う	1) ・振り返りシートなどを活用し、目標やねらいについての自己評価をさせる ・言語化が難しい児童生徒の場合は、項目を示し、○×でチェックさせる 2) ・シールなどによるポイント制を利用する
2	授業の構成	4) ・視覚的な手がかりや具体物を使って説明する 5) ・授業の課題、作業の進め方、流れを小黒板やカードなどで提示する ・学習の流れを一覧にし、今どこを習っているかを矢印で示す ・学習の始まりと終わりを明確に提示する ・学習の流れを示したカードを準備し、確認させながら授業に臨ませる ・学習の変わり目に、声かけをして注意を喚起する 6) ・指示や話の内容について児童生徒に復唱させる	5) ・授業の流れを示したカードをあらかじめ用意しておく 1 教科書を読む 2 一人で問題を解く 3 グループの話し合い 4 グループ発表 5 まとめ